

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学看護学部

・はじめに

私は3月2日から3月24日までの約3週間、岩手県立大学春季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加し、韓国の首都ソウルにある慶熙大学校で韓国語や韓国の文化を学んだ。これまで韓国語や韓国の文化に興味があり、岩手県立大学の選択科目で韓国語を1年間履修したことから、今回の留学に興味を持ち参加した。本稿ではこの短期留学で得た経験をもとに、授業の様子や現地での生活などについて報告する。

・授業

初日は入校式、オリエンテーション、クラス分けテストが行われました。オリエンテーションでは、他大学の多くの日本人留学生が参加しており、当初は緊張した。クラス分けテストは一人10分程度の対一の面接形式で行われ、それぞれのレベルに合わせて会話が進められた。私の場合は自己紹介に加え、なぜ韓国に来たのか、興味があることについての簡単な質問をされた。

その日のうちにクラスが発表され、初級・中級・上級の3段階に分かれ、さらに各クラス13人程度の少人数のクラスが編成された。初日の授業後、自分のレベルに合わないと感じた場合には、先生との再面談によりレベルを変更することも可能であった。

授業は9時から13時までで、「文法」「聞いて話す」をそれぞれ2コマずつ、1コマ50分×4で行われた。教科書は大学の書店で購入し、それに基づいて授業が進められた。月曜日と水曜日は14時から16時まで文化授業、金曜日は現地学習が行われた。文化授業では初級は発音、中級以降は韓国ドラマを題材とし、その他は伝統遊び、カリグラフィー、K-popの歴史などを学んだ。

授業は全て韓国語で行われたが、説明は分かりやすく、少人数であるため質問もしやすい環境であった。韓国語に触れる機会が多く、以前よりも理解が深まったと感じている。

・現地学習

1回目は国立中央博物館を訪れ、文化財の見学と韓国の伝統音楽「サムノリ」を基にした非言語講演「ナンタ」を鑑賞した。迫力ある演奏とパフォーマンスに圧倒され、印象に残った。博物館では観光の歴史や様々な文化遺産が展示されており、興味深く見学することができた。訪問時には、アイドルとのコラボ企画も行われていて面白かった。

最後の現地学習では一日中ロッテワールドを訪れ、室内と屋外のアトラクションを満喫し、飽きることなく楽しめた。

・トウミ制度

トウミ制度、とはキョンヒ大学の学生とペアになり交流する制度である。性別や年齢は様々であるが、私の場合日本語を少し話せる同年代の学生であり、他の日本人留学生も含めて3~4人で遊ぶことが多かった。最初は韓国語での会話に不安があったが、トウミと長時間会話することで、学んだ文法を実際に使う機会が増え、知識の定着につながった。また、語学は実際に使う方が身につくことを実感した。事前に話したい内容を調べることで学習も進み、後半にはスムーズに会話を楽しめるようになった。

この制度は特にスピーキングやリスニング能力の向上に有効であると感じた。また、カラオケや予約が必要なイベントなど、個人では難しい体験もでき非常に有意義であった。

・生活

寄宿舎はIHコンロ、電子レンジ、バストイレ（シャワーのみ）、ドラム式洗濯機、冷蔵庫が備え付けられていた。一方、トイレットペーパーなどの日用品は用意されていなかったため、日本から持参するか現地で購入する必要があるがあった。ゴミ袋は寮指定のものを一階のコンビニで購入した。

食費や交通費もすべて自己負担であるため、自炊などで節約することも有効である。

韓国では現金を使用する機会は少なく、WOWPASSというクレカと交通系ICカードが一体となったカードを利用した。為替レートによっては両替の方が有利な場合もあるため、事前に確認しておくことよい。また、NAVERマップは経路検索や店舗情報の保存が可能で便利であり、事前にインストールしておくことを推奨する。eSIMは日本で安く購入し、現地でも問題なく利用できた。

移動は主に地下鉄を利用したが、バス移動の際には乗り物酔いを経験した。運転が日本より荒い場合もあるため、酔いやすい人は酔い止めを持参すると安心である。

午後の授業がない日や土日は自由時間だったため、自由に遊びに行けた。勉強だけでなく観光もたくさんできたため、日々充実していた。

・まとめ

本研修を通して、韓国語能力の向上を実感するとともに、現地の人々との交流を通じて韓国文化への理解を深めることができた。旅行では得られない貴重な経験であり、韓国語の上達や文化理解を深めたい人にとって有意義な機会であると感じた。

また、今回が初めての海外経験であったが、現地で実際に生活を通して日本の魅力を再認識する機会にもなった。事前の学習不足を感じることもあったが、この経験によって学習意欲が高まり、有意義な春休みを過ごすことができたと感じている。



学食



学食



北村韓屋村



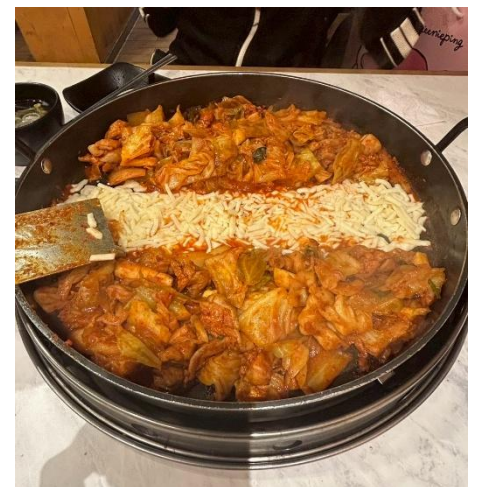
サムギョプサル



ナクサン公園



国立中央博物館



チーズタッカルビ

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学総合政策学部

はじめに

私は、3月4日から3月26日までの3週間、韓国研修に参加しました。研修先は、韓国のソウルにあるキョンヒ大学です。

授業

初日にクラス分けテストを行い、自分のレベルに合ったクラスに配属されました。クラス分けテストは先生によって内容が変わるのですが、私が面接を行った先生は質問に答える感じではなく、自由に自己紹介をしてというふうに言われたため、何を話せばいいかわからなくて言葉に詰まってしまいました。何を言うかある程度考えてくればよかったなと思いました。私のクラスは14人いて、台湾人が1人、そのほかは全員日本人でした。授業は9時から13時まで、1コマ50分の授業×4コマあります。そのほかに2日1回14時から16時までの文化授業が4回、現地学習が2回あります。初日に自分のレベルに合ったテキストを購入し、そのテキストを使って午前中の授業を受けます。授業はすべて韓国語でしたが、ゆっくりとジェスチャーも入れて説明してくれるため、とても分かりやすかったです。課題を提出する際、先生はカカオトークで送ってほしいようでしたが、アプリを入れていなかったため、LINEで対応してくれました。韓国で使いそうなアプリは日本で事前にインストールしてくればよかったと感じました。

寄宿舍

寮はとても立地が良く、駅から徒歩1分ほどでした。学校までも徒歩15分ほどであったため、学校終わりに遊びに行くにはとても良かったです。近くにオリーブヤングやダイソー、カフェもたくさんあるため、地下鉄で移動しなくても徒歩圏内で用事を済ませられました。寮はとてもきれいで、キッチンや洗濯機、冷蔵庫、電子レンジも部屋についているため、とても快適でした。しかし、オンドルの影響もあり、部屋はとても暑かったです。そのため、半そでを持っていくことをお勧めします。初めて洗濯をした際、洗濯機が開かなくなるという事件が起きてしまい、寮の管理人に相談したところ、叩けば開くと教えてもらいました。何回か叩いてみると開けることができ、とても安心しました。私たちは洗濯を二日に一回やっていたため、バスタオルは2~3枚で足りました。ハンガーも部屋にたくさんあったため、こだわりがない人は持ってなくてもいいと思います。また、部屋点検というものもありましたが、隅々まで見られるのではなく、軽く部屋の設備に不備はないかを見る程度でした。管理人の方は一部屋一部屋見て回っているため、予定時間よりも1時間くらい遅れてきたこともありました。

寄宿舍ではボイラーが壊れていた、洗濯機が開かないなどの事件が起きましたが、寮の

管理人の方は日本語が話せないため、韓国語で対応しなければいけませんでした。韓国語のレベルが日常会話はできる程度でも、難しい単語はあまりわからなかったため、少し大変でした。

食事

韓国では一つのメニューを頼むとキムチやたくあんその他、様々なおかずがたくさんついてくることに加え、そもそもの量が多く、最初はおなかがとてもきつかったです。後半になると体が順応して、とてつもない量を食べられるようになりました。私は誘惑に負けてお腹が空いていなくてもご飯を食べたり、道中で買い食いをし続けた結果、1か月で6キロ太ってしまいました、、しかし、韓国で食べたいと思っていたものはすべて食べることができたのでよかったです。基本的に辛い物が苦手でも食べられる辛さのものがほとんどだったため、美味しくいただくことができました。

まとめ

今回の短期留学で、韓国の方と直接話したり、食べ物や文化も体験できてとても良い経験になりました。現地では、雨が降っているときに傘をさしてくれたり、地下鉄の乗り換えを教えてくれたりしてくださった方がいて、とても親切で感動しました。私は韓国語をドラマやアイドルの動画などでしか身に付けていなかったため、韓国語を基礎から学ぶことができてよかったです。韓国語で現地の人と会話するのがとても楽しかったです。小学生の時から行きたかった韓国で過ごした三週間はあっという間で、日本に帰るのが名残惜しかったです。このような体験は簡単にできるものではないので、背中を押してくれた家族や友達に感謝したいです。

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学総合政策学部

〈はじめに〉

私は3月2日から3月24日までの3週間の、岩手県立大学春期海外研修の韓国語・韓国文化コースに参加しました。韓国語の授業は最初の簡単な面談で、自分の韓国語のレベルに合ったクラスに分けられます。私自身、韓国語はハングルが読める程度で参加しました。そのため一番初級のクラスでも、授業は全て韓国語で行われるため、韓国語をある程度理解出来るレベルで参加するべきだったと思います。それでも、友だちが出来たり、韓国で生活できたりしたことはとても良い経験になったし、また行きたいと思いました。

〈授業〉

授業では1日に50分が4コマあります。週に2回は午後まで授業があり、韓国の文化についての勉強をします。授業は全て韓国語で行われ、友だちと話す練習をしたり、課題に取り組んだりします。金曜日には韓国の博物館や有名なナンタ公演を見に行ったり、ロッテワールドに行ったりしました。

〈寄宿舍〉

部屋は二人部屋で、コンビニが下にあったり、ダイソーが近くにあったりするため、生活で不便に感じることはありませんでした。ただ、お湯がちゃんとでなかったことがありました。寮の点検時に伝えると、業者が部屋に来てボイラーごと業者が直しに来るということがありました。急だったためびっくりしましたが、何事もなく、お湯もでるようになって良かったです。駅にも近いため、放課後は電車に乗って遊びに行くことも出来ました。

〈トウミ制度〉

この研修でトウミ制度というものがありました。これはキョンヒ大学の学生と留学生がマッチングされて学生に韓国生活や韓国語学習のサポートをしてもらう制度です。私は2歳年上の女性の方とマッチングをして、予定を決めて3回会いました。学校の近くのおしゃれなカフェに連れて行ってくれたり、韓国のおすすめのお菓子を教えてくれたりしました。相手の方が日本語を分かる方だったので少し頼ってしまう場面もありましたが、私が韓国語を話そうとするとしっかり最後までちゃんと聞いてくれたり、間違っているところは指摘してくれたり、自分の韓国語の学習にとっても力になってくれました。逆に私が日本語を教える場面もありました。時間はたくさんあったのでいろいろな話が出来て、韓国での流行りだったり、韓国で人気なものが知れたりして面白かったです。申請した人ができる制度ですが、やって良かったし、とても良い経験になりました。

〈自由時間〉

午前授業の放課後や土日には学校近くの店でテイクアウトして寄宿舍で友だちとご飯を食べたり、電車でソンスやホンデに移動してショッピングを楽しんだりしました。

韓国のお店はカードで支払いをするのが普通だと思っていたため、クレジットカードで払う準備しかしていなかったのですが、日本円を換金してカードにチャージして支払いをする方がお得だと感じたため、日本円をたくさん持っていけば良かったと感じました。現金では支払わないけれど、現金を換金したのを WOWPASS にチャージできれば支払いにも使えて、交通カードとしても使えて友だちと送金しあえたりもするのでおすすめです。

〈まとめ〉

今回の韓国研修では、韓国語の上達はもちろん、新しい友だちも出来たり、韓国生活を実際に体験出来たりと、とても良い経験になりました。韓国の方と実際に話せたことで日本に住んでいたら分からないことも知れて楽しかったです。韓国に興味があって、韓国語の勉強がしたい人や韓国で生活してみたい人はおすすめします。私も今回学んだことを生かしてもっと韓国語が上達できるように勉強を継続したいし、また機会があれば韓国研修に参加したいと思いました。

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

盛岡短期大学部国際文化学科

<はじめに>

3月2日～24日までの韓国研修に参加してきました。私の体験記では今後行きたいと思っている人に向けて良い情報を書きたいと思います。少しでも考えている人がいれば、是非読んでみてください。

<寄宿舍の裏側！>

おそらくこの研修で一番重要になる寄宿舍を紹介します。まず、日本と違って手厚い補助はないと思ってください。到着した瞬間から全部自分たちでやらなければいけません。まず部屋に布団がちゃんと置いてあるか確認してください。私の部屋は初日布団がなく本当に不便でした。連絡手段も曖昧だったので、学校が始まるまでは担当の方と連絡が取れませんでした。そして、よくトイレが詰まります。1階に管理人さんがいるのでその人に状況伝えると良いです。とりあえず困ったら、大学の日本人の寮担当がいるので、その人に連絡してください。そして、寮には本当に何もありません。トイレトーパーからシャンプー、全部揃えないといけません。目の前にダイソーあるので基本そこで揃えます。

<金銭面で悩んでる人へ>

これに関しては触れていない人がほとんどですが、まずこの研修費用からの話をします。私は、バイト代だけでは費用を賄えない状況だったので、数ヶ月間だけ奨学金を借りました。どうしても韓国研修に行きたかったので、後々返すこととなりますが本気で望んでいる人は奨学金を借りるのも一つの手です。費用は毎年変動するので参考程度にして欲しいのですが、私の時は約30万円かかりました。ただこれは費用であった、自由に使う分はまた別でかかります。行きたいところ、食べたいもの、全部叶えるのは正直厳しいです。旅行と違って期間も長いし、日用品なども買わないといけないので想像以上にカツカツです。私は20万弱持って行きましたが全く足りませんでした！そして、円安の影響もあるので本当に高いです。節約のためにとスーパーに行っても外食と変わらないくらいかかります。買い物と食事どちらもお金をかけるのは厳しいので、妥協も必要です。

<これだけは気をつけて！>

- ・ゴミ袋はコンビニやスーパーの店員さんに言わないと買えません。いくら探しても店内には置いていないので注意してください。
- ・もし時間があるなら、空港に着いた時点で2000円程換金すること勧めます。電車に乗る時の交通系カードは現金でしかチャージできないので、レートがいいところで換金しようとしても、そこにいくまでの手段がありません。もし空港が難しい場合は、大

学の中にもあるので、大学が始まってから換金するのも良いと思います。

- ・宗教には気をつけてください。遠回しに勧誘されたりします。相手が若いから大丈夫と安心しないで、もし宗教関係の話になっても乗らずに受け流してください。
- ・キャリーケースの重量には気をつけた方がいいです。私は全部もって帰ることができず、服を何着か捨てる羽目になりました。日本から持っていく服は本当に最小限にした方が帰る時後悔せずに済みます。
- ・プラグ変換器必須ですよ！電圧を変えるタイプではなく、普通のプラグ変換器を買ってください。あまり安すぎると火事の原因になるので気をつけてください。

※自分が実際生活した上で感じたことなので、もしかしたら変わっていることもあるかもしれないし、別な問題が生じるかもしれません。

<話せなくてもいける？>

一番ここが不安に思っている人もいるのではと思うのでまとめておきます。まず、私はある程度話せる状態での渡航でした。同じように高校から勉強してきた、または独学で話せるといった人はほぼ不便なく生活できます。普段勉強している韓国語をそのまま使ってもしっかり通じます。変に難しい言葉を使う必要もないので安心してください。

そして、ほぼ話せない(泣)っていう方！大丈夫です、なんとかなります。身の危険を感じる状況にない限り話せなくても大丈夫です。なぜなら、今の時代翻訳機がありますよね!!? 「わからない、でも絶対翻訳機には頼りたくない」そういう人いるかもしれません。今すぐそのプライドは捨てましょう。理由は、間違った韓国語を使って誤解を生まないためです。異国で生活するということはある程度危機感が必要です。韓国は安全な方ですが、トラブルになってからは遅いのでわからない言葉があったら調べて見せる。これが最適です。理想を言うなら、ハングルを読めることですかね。読めたらある程度は困ることないはずです。

<渡航まで何をすればいいの?!>

これは実際私が渡航前何をすればいいか全くわからずだったので、参考になればと思います。まず、荷物ですね。極力物は減らしましょう。「えー無いと不安だな」大丈夫です、全部あります。本当に必要な常備薬や生理用品、下着以外は本当になくていいです。ただ、全部揃えると結構お金かかります。特にシャンプー系は持参していけばよかったと反省しています。少量で売っていないので使いきれずに捨てることになります。帰りの手間が増えるので持参して使い切るほうが楽です。

次に行きたいところのピックアップです。私は友達が凄く詳しくだったので、全部調べてくれました。とにかく時間があります。もはやもう行き飽きたっていうくらい行けます。計画的に日程を組むなどして行くことを強く！お勧めします。

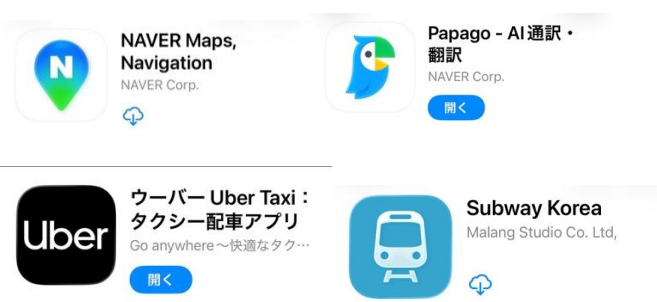
最後はなんといってもバイトです。バイトしてください。お金貯めましょう。一番大事

です。もっとお金持っていけばよかったって必ず思います。こんだけあれば十分でしょくらい貯めてください。そうしたら、最高に楽しい留学生活になります！

<便利アプリ紹介！>

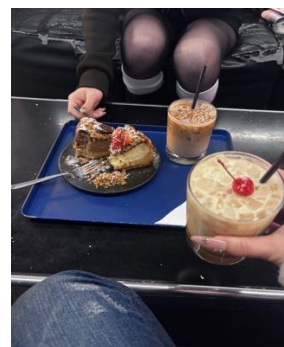
実際私が使ったアプリを紹介しますね。

- ・ Papago：翻訳アプリです。これがあれば会話には困りません。
- ・ NAVER maps：地図アプリです。ピックアップはこれでよし！
- ・ Subway Korea：地下鉄アプリです。行き先までのルート案内をしてくれます。
- ・ Uber：タクシーアプリです。他のアプリが利用できなかったのをこれを使いました。



<まとめ>

最初はとにかく楽しみで楽しみで仕方ないですが、実際行くと現実を見させられます。ただ旅行に行くのとは訳が違い、勉強をしに行くので最初はきつかったです。環境に慣れるのも人によっては時間がかかるかもしれません。不安や心配もたくさんあるかもしれませんが、若いうちにしかできないこと、経験できないことがあります。自分には向いてないとか話せないからやめようかなではなく、とりあえず行ってみる！これが本当に大切です。困ったら必ず誰かが助けてくれます。日本語話せる人もいます。私が言えるのはなんとかなる、これだけです。ただ中には日本人を良く思わない人もいます。安易な考えや行動がトラブルの原因になるかもしれません。そのことだけは忘れず楽しんで欲しいです！



短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

盛岡短期大学部国際文化学科

〈はじめに〉

私は今回、3月2日から3月24日にかけて3週間の韓国研修に参加した。これまで韓国のドラマや音楽などを通して文化に触れてきたが、実際に現地で生活することでしか得られない学びがあると考え、この研修に参加した。語学力の向上だけでなく、現地の文化や生活を実際に体験することでさまざまな発見があった。

〈授業〉

初日のオリエンテーションでは研修全体の説明を受けた後、韓国人の先生と約10分間の1対1のスピーキングテストが行われ、自分のレベルに合ったクラスに分けられた。

授業はすべて韓国語で行われ、9時から13時まで、1コマ50分の授業が4コマ続く形式であった。最初は韓国語のみの授業に戸惑いもあったが次第に聞き取れる部分が増え、自分の成長を実感することができた。

また、2日に1回、14時から16時まで文化授業が行われ計4回実施された。さらに、現地学習も2回行われた。文化授業では、ドラマを見ながら翻訳を行ったり、ユンノリやコンギといった韓国の伝統的な遊びを体験したり、書道やK-POPの音楽に触れたりと楽しみながら韓国文化を学ぶことができた。

〈宿舎〉

宿舎は回基駅の目の前にあり、交通の利便性が非常に高く移動の面で大変助かった。一方で、生活面ではいくつかのルールや課題もあった。

特に、2回行われた部屋の点検では19時までに部屋に戻り待機する必要がある、冷蔵庫の中身やゴミの分別状況などを確認された。それ以外の日は門限が夜12時までであり、外泊届を提出すれば外泊も可能であった。

また、日用品は一切用意されておらず、すべて現地で揃える必要があった。韓国の物価は想像以上に高く、トイレトペーパーなどの消耗品は日本から持参するべきだと感じた。さらに、トイレの詰まりや洗濯機の不具合などさまざまな問題が発生したが、それらを自分たちで解決していく中で、海外で生活する大変さを実感すると同時に自立心も養われた。日本では当たり前だと思っていた環境が決して当たり前ではないことに気づく貴重な経験となった。

〈自由時間〉

授業終了後は門限まで自由時間となっており、各自が好きな時間を過ごすことができた。友人と出かけたり、一人で散歩をしたりするなど有意義に時間を使うことができた。

想像していた以上に自由時間が多かったため、最初から体力やお金を使いすぎず計画的に行動することの重要性を感じた。

〈文化の違い〉

日本と韓国は似ている部分も多いが実際に生活してみると、根本的な考え方や文化の違いを感じる場面が多くあった。

例えば、レジでは効率が重視されており、日本のような丁寧な接客はあまり重視されていないように感じた。また、仕事中にスマートフォンを見たり友人と会話をしたりするなど比較的自由な雰囲気があった。

さらに、電車内で電話をしたり道で自撮りをしたりする人も多く、他人の目をあまり気にしない文化があると感じた。私はそのような自由な雰囲気が自分に合っていると感じ、生きやすさを覚えた。

一方で日本には日本特有の丁寧さや思いやりといった美しい文化があり、それぞれに良さがあると感じた。このように異なる文化を比較し、それぞれの良い点を見つけることができること自体がとても貴重な経験であると思う。

〈まとめ〉

今回の韓国研修を通して、語学力の向上だけでなく異文化理解の重要性や海外で生活することの大変さを学ぶことができた。実際に現地で生活し、自分で問題を解決していく経験は自分自身の成長にもつながったと感じている。

また、日本と韓国の文化の違いを実際に体験することで自分の価値観を見直すきっかけにもなった。今回の経験を今後の学習や将来に活かしていきたい。